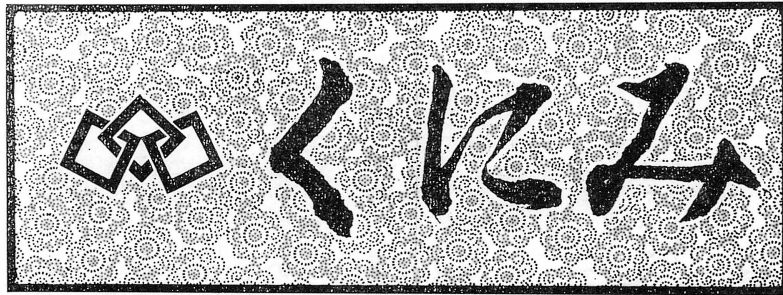


人口と世帯数	
男	5,790人
女	6,124人
計	11,914人
世帯数	2,649世帯
47.5.1 現在	



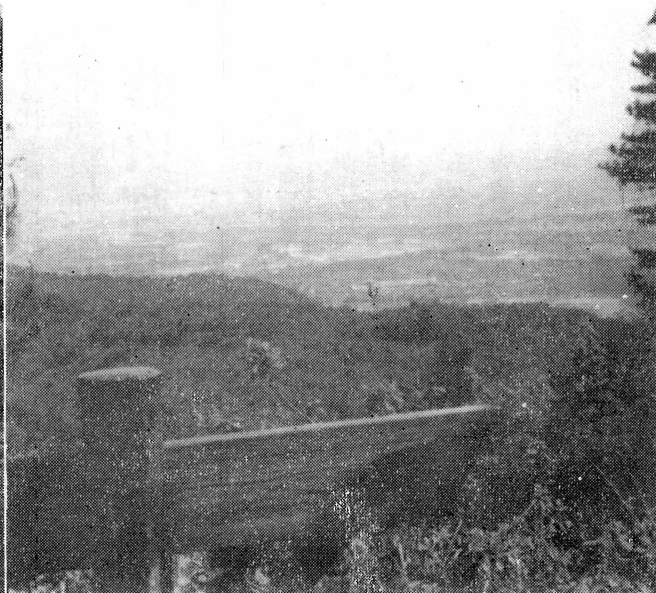
十年後、あるいは二十年後に、また厚樫道を歩くと、僕らの眼にうつるものは何であろう。はたしてそのときにも、深緑、鳴鳥の厚樫道はなお存在しているだろうか。学級生佐藤秀世

五月七日、すばらしい天気恵まれて、僕ら青年学級生は、奥の細道厚樫道の一部、石母田の山中を元気に歩いた。石母田供養塔付近から山に登り始め、厚樫山に下るコースの途中で、風食をとったりワラビを採ったり、新緑に染まるような一日であった。

遠い昔、藤原泰衡と源頼朝の戦いの場であったと言伝う山中は、今は林道が切れ、山菜採りらしい車が路傍に駐めてあったりする二重濠で有名な厚樫山付近も、桑園が造成されたり、林道工事が行われていたり、また近いうちには高速道路の工事も始められるはずである。その変貌は速く、僕らの幼い日の山の面影さえ失われてゆくのであるから、まして遠い昔のことなど、想像もできなくなってしまうだろう。

「おくのほそ道自然歩道」を利用しましょう

若葉の候 歩こう会 (青年学級)



歩く効果と正しい歩き方

1 歩くことの効果

- (1) ストレスの解消になります。
- (2) 歩くことは気分転換になりますし、精神労働の疲労回復にも効果があります。
- (3) 便秘がちの人は運動不足が原因となっている場合が多いようです。歩くことは全身運動なので新陳代謝を促進させることになります。
- (4) 便通や血行をよくします。
- (5) 太りすぎをなおします。美食をつづけ運動量が少ないとカロリーの過剰になり中年太りになります。美食を控え、歩け歩け運動など適度な運動をつづけますと、見違えるようになります。
- (6) 足や腰を強くします。人間の肉体の衰えはまず足、腰にくるものですから、毎日つづけて歩いていけば老化を防ぐことになりやすくなります。

2 正しい歩き方

- (1) 上体をまっすぐに
- (2) 腕の力を抜きます。
- (3) 腕の振り方は、体の少し内側に向うのが自然です。
- (4) 体はどの部分も終始ゆつたりとした姿勢をとります
- (5) 歩幅は七五センチ
- (6) 左右の足を一線に
- (7) 一分間九〇メートルが平均です。
- (8) この調子でいくと十分で九百メートル一時間で五千四百メートル。これより早くても遅くても、エネルギー消費量は大きくなります。
- (9) プラプラ歩きがかえって疲れるのはこのためです
- (1) 一日、七キロが適当
- (2) クツはゴム底
- (3) 芝生の上が最高
- (4) 歩き疲れをとる方法
- (5) 運動すると糖分が使われますので砂糖水にレモンを入れて飲むとききめがあります。レモンは息ぎれを直してくれます。足の甲が熱くなると長続きしないので、冷たい水で冷やすのも一方法です。スネやフクラハギが痛くなったら足を熱い湯と水に交互につけると早く回復するようです。
- (6) 心臓機能障害・高血圧・糖尿病等の人は、医師と相談してから歩きましょう。

追放しましょう

酒のみ運転

(大木戸交通安全母の会SS)

私達の悩みは、日ごとに増える交通事故の防止についてです。

新聞やテレビからの血なまぐさい事故のニュースが毎日目にとまります。その中で酒のみ運転による事故の何と多いことでしょうか。

わたくしどもの毎日の生活の中で、ちよつとした不注意がこれらの事故の原因をつくってはいないでしょうか。

例えば、新築、増築中の家庭で、職人さんへの酒のもてなしです。夕方車で来ていると知りながら、酒を勧める人がまだまだ多いようです。こんな時、二合ビンなどを、家に帰ってゆっくり飲んでくださいと、持たせてやる等の方法はいかがでしょうか。

運転者と知りながら、一杯だけ、と酒を勧め、飲んで悪いと思いがらつい一杯、こんな甘い考えが幸わせた家庭を不幸のどん底につきおとしてしま

と、考えます。

酒は飲まない

飲ませない

ここで酒飲み運転の追放を誓いましょう。

今日の、そして明日の幸福を守るためにも。

(母の会のSSさん氏名住所をお知らせください)

ポンプ操法競技郡大会 第二分団第一部 優勝

第十六回伊達支部のポンプ操法大会は四月二十七日保原町菅グラウンドにおいて開かれ、当町から出場した第二分団第一部は自動車ポンプの部で優勝、第三分団第一部は五位という成績で優勝したチームは八月中旬に行われる県大会に出場することになります。

(沖縄復帰記念事業)

藤田郵便局だより

歴史的な沖縄の本土復帰も実現いたしました。今回郵政省ではこの記念実施することになりました。

これらの事業に協力された方には記念として沖縄の民芸品を差し上げることにしております。

皆様のご協力をおねがい申し上げます。



お悔み申し上げます

(四月中に亡くなられた方 敬称略す)

死亡日	氏名	各年命住	所
4/1	佐藤 氏	57	森山 東新田32
5/1	安藤 氏	89	藤田 日向一、一の2
10/5	高橋 氏	87	泉田 川北69
17/10	佐藤 氏	73	鳥取 堰下7
18/17	高橋 氏	49	藤田 町尻一、15
20/18	菊地 氏	83	石母田 国見山下2の3
22/20	一条 氏	79	小坂 向川原15
23/22	齋藤 氏	8	石母田 割田3の1
24/23	齋藤 氏	8	山崎 南古館5
28/28	神林 氏	63	泉田 赤坂62
28/24	村上新太郎	68	大木戸原町14

国見町部落会長名簿 (昭和47年度)			部落会長名		
部落会名	班数	世帯数	部落会長名	部落会長名	部落会長名
前町	7	110	次正清	一郎郎	由門夫
町	6	69	幸豊彦	勝左	隆
町	10	80	藤間地島	藤田	田川
町	9	72	斎佐菊	桂後	武吉
町	11	90	林野藤	野藤	戸地
町	4	109	正要久	巳忠	左外
町	2	46	藤橋妻	田田	山
町	2	21	藤藤藤	村藤	黒戸
町	2	18	後佐安	野佐	目穴
町	2	22	森	龍義	正平
町	2	32	藤田	藤藤	藤沢
町	3	20	上崎	橋藤	藤
町	3	27	斎	後	実
町	4	44	岩	村	岩
町	7	32	高	佐	岩
町	3	43	高	吾	吉
町	4	42	吉	吉	吉
町	3	44	吉	吉	吉
町	4	32	吉	吉	吉
町	3	43	吉	吉	吉
町	4	42	吉	吉	吉
町	3	36	吉	吉	吉
町	4	45	吉	吉	吉
町	10	110	吉	吉	吉
町	4	57	吉	吉	吉
町	5	41	吉	吉	吉
町	6	43	吉	吉	吉
町	5	55	吉	吉	吉
町	5	38	吉	吉	吉
町	8	44	吉	吉	吉
町	5	39	吉	吉	吉
町	5	50	吉	吉	吉
町	3	28	吉	吉	吉
町	7	50	吉	吉	吉
町	5	44	吉	吉	吉
町	8	57	吉	吉	吉
町	2	39	吉	吉	吉
町	4	44	吉	吉	吉
町	7	46	吉	吉	吉
町	8	60	吉	吉	吉
町	3	29	吉	吉	吉
町	6	41	吉	吉	吉
町	9	57	吉	吉	吉
町	4	21	吉	吉	吉
町	4	20	吉	吉	吉
町	6	58	吉	吉	吉
町	9	114	吉	吉	吉
町	6	66	吉	吉	吉
町	6	61	吉	吉	吉
町	7	67	吉	吉	吉
町	6	63	吉	吉	吉
町	3	30	吉	吉	吉
町	3	16	吉	吉	吉
町	2	24	吉	吉	吉
町	4	33	吉	吉	吉
町	2	19	吉	吉	吉
町	3	70	吉	吉	吉
町	7	192	吉	吉	吉
町	23	192	吉	吉	吉
町	288	2,639	吉	吉	吉

出たぞ金環(二つ)

ここにもあった みごとに石室(大木戸古墳)

大木戸厚植山麓一帯に古墳が散在し、これまでにそのほとんどが開墾され、県史を飾る「わらび刀」(大木戸小学校保管)をはじめ古代の歴史を物語る多くの貴重な遺物を出土したということについては先月号で述べたところである。こんど、最後に残された唯一の古墳が開墾されることになったので、これを緊急調査してみたところ、みごとに石室と立派な金環(耳飾り)二個があらわれ、関係者を喜ばせている。

この古墳は字馬捨にあり大木戸古墳群の一つで、これまで何回か発掘されたらしく、塚山の半分は削りとりられ、石室を構成していた国見石も大半運び去つた。石垣材料にされている。担当者として目黒吉明先生、調査員は例の考古学研究会のグループ五人、四月二十九日から五月一日までの三日間、その前に二日間の測量を加え五日間の作業である。

残された巨大な石材の間を丹念に調べた結果、耳飾



りに用いた金環二個、それに多数の鉄鏃(てつぞく)鉄のやじり)破片が発見され、塚野目錦木塚と同じ古墳時代中期(約一五〇〇年前)の石室古墳と思われる。今回の発掘に当っては地主佐藤光一さん、耕作者高村春雄さんのご理解と風食の賄い一切をお引受ください。(鈴木生)

さあ、今年もやるぞ!

事業・予算など決る

(国見町郷土史研究会)

国見町郷土史研究会では五月五日午後一時半から町民福祉センター老人子ども室で総会を開き、旧年度の庶務、会計の報告や新年度の事業計画、予算などを審議した。会員一六八名(昨年は一三八名)中出席七十七名となかなかの好成績で、「今年も大いにかんばろう」とかすかずの事業を決め、決意を表明して午後四時散会した。今年度の予算は約一〇万、主なる事業次のとおり。

- 講演会 三回
- 講習会 二回
- 展示会 一回
- 史跡探訪会(見学旅行) 三回
- 民俗資料調査 二回
- 会報発行 二回
- 現地研修会(発掘調査、

明治学級だより

○四月十二日(水)午後一時半から福祉センターで役員会を開き、開講式等について協議する。三八名出席

○四月十八日(火)午後一時より開講式を行なう。出席一七〇名、記念品として名入れの資料つづりをもらい、これから印刷物を大切に保存することを申合せ。名物だんごで舌つつみを打つ。

◎次回のお知らせ

時日 五月二十五日(木) 午後一時半より
場所 町民福祉センター
テーマ 丈夫で長生きするひけつ
講師 藤田総合病院院長 本宿尚先生

町長選挙を

立会演説会制に

今年が任期満了にともなう町長選挙が行なわれますが、町長選挙の立合演説会に関する条例制定のための運動実行委員(代表、佐野喜代志さん外五名)でこのほど町当局に対し立合演説会に関する条例制定についての要望書を、町内有権者有志五八八名の署名簿を添えて提出しました。

三月の定例町議会でも一般質問があり、町長はこれに答えてくれました。(佐野記)

立合演説会は、候補者が同じ条件のもとで、自分の町政に対する所信と公約のべ有権者が候補者を良く理解して投票でき、また有権者の町政に対する意識の高揚にもつながり「明るく正しい選挙運動」にも大いに役立つものとして期待されています。

おめでとーうございませす

(四月中出生届をされた方 敬称略す)

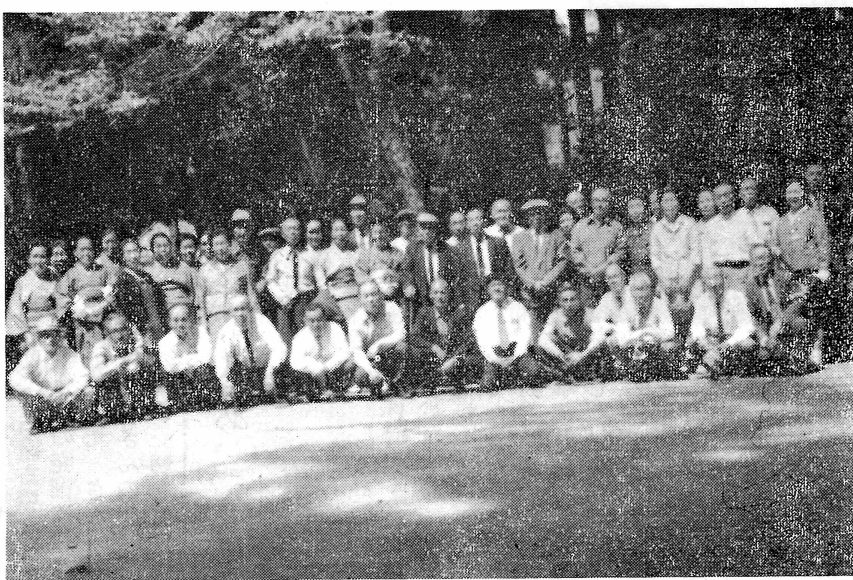
出生日	氏名	親名と続柄	住所
4, 3	佐藤 悦子	仁の長女	藤田 北21
5	佐藤 勝志	隆造の3男	森山 下鶴町28
7	笠松ひろえ	文夫の長女	大木戸原町6
7	笠松ひとみ	文夫の2女	大木戸原町6
7	草野 理恵	弘道の長女	藤田 中沢一、11
7	斎藤 正	正勝の長男	徳江 舘ヶ崎20
10, 10	後藤 智子	正男の2女	徳江 親郷4
10, 10	阿部 正行	靖博の長男	石母田 駒場18
11	高野 明弘	繁治の長女	小坂 小坂10
17	秦 雅信	裕俊の長男	藤田 日渡四、21
17	高野 雅信	裕俊の長男	藤田 日渡四、21
24	鎌水 正憲	正春の長男	山崎 南古館5

平泉・気仙沼の旅

われら明治学級生四六名（男三〇名女一六名）は、青葉若葉の好時節五月八・九の二日間、あこがれのみののくの旅、平泉、気仙沼方面に修学旅行をした。

八日午前六時半車庫を出発、十一時平泉到着、まず昼食をとって腹ごしらえ、正午から二時まで中尊寺、金色堂、讚衡藏など八百年の昔をしのび、毛越寺を見学して午後三時一の関を後にする。それより気仙沼まで北上山系横断、曲りくねった道路は相馬に至る霊山越えに似ている。一時間半で気仙沼に達し、巨釜、半造など景勝地を觀賞しながら唐桑半島を南下、先端御崎に建てられた国民宿舎、「からくわ荘」に泊る。一泊二食一六〇〇円にしては上々のできだ。このあたり一帯陸中海岸国立公園で、夜中にきじの声がかきこえる翌九日早朝みんなで散歩に出かける。リ阿斯式海岸特有の海岸美、それに加えるに国立公園としての施設も着々と進んでいる。完備された遊歩道、展望所、キャンプ場、みんなの広場、夏場のにぎやかさが思いやられる。八時半出発、小鮭という小漁港から連絡船の

浦の浜から亀山に登るリフトにのる。総長九〇〇余メートル、十二分で標高二五〇メートルの頂上展望台に達す



る。ここから気仙沼湾、唐桑半島が眼下に見おろせ、晴れたときは南金華山から北は宮古方面まで見える。うだが今日はいにくもや

がかかって何も見えない。早々に降り、再び連絡船で湾内のかきいかだや両岸に立ならぶ石油タンク、漁船魚市場など眺めながら気仙沼到着、折から北洋に出漁するサケ・マス船の出港を見送るおまけがあり、途中

岩井崎で風食をと潮吹り、潮吹きなどの奇勝を見帰る路に着く石巻松島塩釜仙台など、このラッソも切難な切切りぬり定刻六時に車庫に無事着いた。大半何らかの持病をもった老令者にもかかわらず、一人の異常者もなく、元気で帰れたことをみんなで喜び合

った。(団長藤田勝衛記)

コーラス教室の

おすすめ

みんなで楽しく

うたいましよ

四十六年四月に公民館で開設している諸教室のうちコーラス教室として発足し、満一年を迎えて、今年度から一人立ちのコーラスクラブ国見フロインとして活動してまいります。

発足当時は調律の悪いオルガンでの練習でしたが、現在は新しいピアノで、県北中学校板垣先生の指導を受け毎月第二、第三日曜日の午前十時から十二時まで練習しております。

昨年は町文化祭の芸能発表会に初ステージをふみ、今年、五月十四日には、管内随一の伝統とキヤリヤを誇る梁川町のコーランポクラブとの交歓発表会を実施いたしました。

私たちのなやみは、この文化的町にしてはメンバーが少ないことです。多数の愛好者の入会を歓迎いたします。

申し込みは練習当日おいでになるか、公民館（福祉センター）までご連絡ください。

あつかし俳句会（四月十五日）

兼題 「朧」 「馬酔木の花」 席題 「葱坊主」	
* 馬酔木咲く練塀曾って勲五等	早田 灰鳥
* 裏だなの主の庭の花馬酔木	奥山 甲二
* 別れ来て立塞がりし山おほろ	斎藤 黄鶴
* 犬吠えて酔漢わめく花おほろ	一 陽
* 招く手の触れてこぼるる花馬酔木	勝 エ
* 花馬酔木こぼれて白き潦	正 一
* 生涯を何も出来ずに夢おほろ	痴 仏
* 朧夜の影を偲びて来る夜かな	雨 水
* 朧夜のポストに文の音を聞く	山 月
* めぐり来て愛宕の山の鐘朧	貞 治
* 居士信女眠れる丘や花馬酔木	泰 山
* 魁けて咲けど馬酔木はつましく	吐 絹
* 焼香を終りて丘の花馬酔木	祥 子
* おぼろ夜やけいこ帰りの手振りあり	昭 子
* やわらかき風に居眠る葱坊主	はる 子
* 面影のおぼろに昇るだびの煙	かね 子
* 月おぼろ後姿の若かりき	い え
* あつかしの夜汽車おぼろに遠ざかる	秋 子
* 満水の池にたゆたうおぼろ月	栄 子
* 月おぼろ会えばやわらかな言交す	

画像碑群もお引越し

厚樫山中腹一帯にかけて散在する三十三観音・八十八大師合せて百二十一基の画像碑は、県内でも珍しいものとして町の文化財に指定、大切にこれを保存されていたが、東北高速自動車道開設のため移転のやむなきに至り、このほど地元関係者の手でこれを完了し、今月四日午前十一時から現地標識前で法要を行った。あらたに移された場所は、高速道路の上方、松林や雑木林の中に、なるべくこれまでのお姿をこわさぬよう散在されている。道路が完成すれば、石母田又は山根のガードをくぐり、側道を通って参拝することになり、国見町はもちろん伊達の平野を一望に見おろせる「国見山」の名にふさわしい絶好の展望台になるだろう。